

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800039
事業所名	グループホーム向陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し、回覧板担当の入居者は、今では一人で隣まで回覧板を届けている。保育園の児童がホームを訪れたり、小学校の運動会には入居者が大挙して観覧に押しかけている。中学生の職場体験も受け入れ、併設のデイサービスも利用して各種コンサートを催し、地域の人も招待している。ホーム夏祭りも地域の人を招待している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	職員・入居者・家族・民生委員・市職員・地域包括センター職員がメンバーであり、委員からは火災時の2階住民の避難路につき質問され、消防と協議した、「火元から遠い方のベランダで退避し、救助を待つ」ことが説明された。新年度からは出入りの酒屋・米屋・観葉植物業者を外部委員として迎える予定で、委嘱もしている。「看取り」の受け入れ準備中であることも報告されている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	昨年度の外部評価を受けて、2か月に一度運営推進会議録を届けた折に、市の担当者に入居者の詳細について報告・相談している。今年度は「認知症サポーター養成講座」講師派遣と、ホームでの同講座修了者への上級講座開催を企画している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	本人が末期でありながら医療行為を拒み、医療機関もなす術がなく、引き受け手が亡くなった人を「今まで姉妹のために働いて家庭的な生活をできなかった姉を、せめて最後までは家庭的に送ってやりたい」と懇願され、受け入れ、職員協力の下、初めて看取りを行った。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	×	○	×	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。